

13. 高知県看護協会との連携－生涯学習の拠点としての役割

1) 看護協会役員および委員

本学の教員は高知県看護協会の役員および委員の役割を担っており、高知県の看護の質を高めるために各分野において活動を行ってきた。令和6年度は13名の教員が以下の委員を担当した（表1参照）。

表1 高知県看護協会役員・委員・受託事業担当者

役員・委員名	教員名
第1副会長	長戸 和子
常任委員会：研究学会委員会 理事	
常任委員会：認定看護管理者教育運営委員会 理事	
受託事業に係る検討会：新人看護職員研修検討会 委員長	
常任委員会：認定看護管理者教育運営委員会 委員	内川 洋子
常任委員会：災害看護委員会 委員	竹崎 久美子
特別委員会：地域包括ケア検討委員会 委員長	森下 安子
受託事業に係る検討会：在宅領域看護検討会 委員長	
特別委員会：訪看ST運営委員会 委員	森下 幸子
受託事業に係る検討会：保健師助産師看護師実習指導者講習検討会 委員	池添 志乃
受託事業に係る検討会：高知県ナースセンター運営協議会 委員	藤田 佐和
職能委員会：助産師 理事・委員長	嶋岡 暢希
特別委員会：3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会 委員	
特別委員会：地域包括ケア検討委員会 委員	
受託事業に係る検討会：高知県小児救急電話相談事業 委員	高谷 恭子
特別委員会：看護研究倫理審査委員会 委員	岩崎 順子
常任委員会：研究学会委員会 委員	高橋 真紀子
特別委員会：3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会 委員	徳岡 麻由
受託事業に係る検討会：在宅領域看護検討会 委員	井上 加奈子

2) 研修および講習会

(1) 認定看護管理者研修

本年度はファーストレベル研修が開催された。本学からは以下の4名の教員が講師として参加した（表2参照）。

表2 認定看護管理者研修担当者

科目	時間数	教員名
ヘルスケアシステム論Ⅰ「保健医療福祉サービスの提供体制」 「ヘルスケアサービスにおける看護の役割」	9	森下 安子
人材管理Ⅰ「看護チームのマネジメント」	6	内川 洋子
組織管理論Ⅰ「看護実践における倫理」	6	豊田 邦江
「レポートの書き方」	3	山中 福子

- (2) 高知県保健師助産師看護師実習指導者講習会：臨床実習指導者講習会
隔年開催のため、本年度は開催されなかった。

(3) 臨床看護研究基礎研修

本研修は、臨床における看護研究の必要性を理解し、看護研究に取り組むための基礎知識を習得することを目的に開催された。5名の教員が講師として参加した（表3参照）。

表3 臨床看護研究基礎研修担当者

研修名	時間数	教員名
看護研究の基礎知識	6時間	畦地 博子 高谷 恭子
研究計画の進め方	3時間	池添 志乃
看護研究における倫理的配慮	3時間	瓜生 浩子
看護研究論文(症例研究を含む)の書き方と発表	3時間	田井 雅子

(4) 高知県専任教員養成講習会

高知県専任教員養成講習会が開催され、6名の教員が講師として参加した（表4参照）。

表4 高知県専任教員養成講習会担当者

科目	時間数	教員名
「専門領域別看護論演習」	3時間	内川 洋子
「専門領域別看護論演習」 家族看護学	3時間	長戸 和子
「看護教育方法論」 看護学実習の指導体制と連携	3時間	大川 宣容
「看護教育方法論」 看護学実習における教授活動 看護学実習に向けた準備	3時間	嶋岡 暢希
「看護教育方法論」 看護実習における教授活動 実習オリエンテーション、看護実習中の学生支援および事故防止対策	3時間	高谷 恭子
「看護教育方法論」 看護学実習カンファレンス	3時間	田井 雅子

(5) 高知県看護協会の教育プログラムにおける講師

高知県看護協会が主催する看護職員現任者を対象とした教育プログラムにおいて、8名の教員が講師として参加した（表5参照）。

表5 現任者を対象とした教育プログラム担当者

研修名／内容	時間数	教員名
臨床倫理の4分割法による事例検討 ～臨床のモヤモヤの解決と患者にとっての最善とはなにかを考える～	3時間	豊田 邦江
会議・カンファレンスでの発信力を高める研修	3時間	池内 香
一般病院における精神疾患対応向上研修 よく見られる状態像と対応方法	6時間	畠山 卓也 池内 香
（オンライン研修）令和6年度 医療的ケア児等支援者養成研修 令和6年度高知県医療的ケア児等支援者養成研修・医療的ケア児等コーディネーター養成研修プログラム	1.5時間	田之頭 恵里

・総論 医療的ケア児等の地域生活を支える医療的ケア児等のコーディネーターに求められる資質と役割 ・支援に必要な概念		
(オンライン・集合研修) 令和6年度 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 令和6年度高知県医療的ケア児等支援者養成研修・医療的ケア児等コーディネーター養成研修プログラム ・総論 医療的ケア児等の地域生活を支える医療的ケア児等のコーディネーターに求められる資質と役割 ・支援に必要な概念	1.5時間	田之頭 恵里
令和6年度 医療的ケア児等のための看護技術研修	3時間 3時間	田之頭 恵里
「助産倫理」 新人助産師合同研修 【公開講座】	3時間	嶋岡 暢希
施設-在宅を支援する看護師育成研修 ・施設-在宅における療養者と家族への支援（実践）	3時間	井上 加奈子
・在宅への移行期にある事例のケア検討	5時間	井上 加奈子
施設-在宅を支援する看護師育成研修シンポジウム	3.5時間	森下 安子

(6) 地域災害支援ナース育成研修

高知県看護協会の地域災害支援ナース育成研修は、令和6年度で12年目となる。

基礎編4回の内3回（高知市・土佐市・南国市）の開催を支援し、看護職計102名の参加を得た。残りの1回は、幡多支部で地元の看護職同士で自主開催されたもので、今後もこうした、近隣の人材で本研修が開催できるようになるよう、支援していきたいと考えている。（表6参照）

また実務編では、これまでどうしても医療トリアージの実技研修の人气が高く、開催が難しかった「福祉避難所編」を開講することができ、看護職45名の参加を得た。福祉避難所に関する正しい理解や、様々なタイプの災害時要配慮者があることの基本的理解。また一般避難所を含む避難所対応の中で最近注目されているトイレの問題についても、汚物の処理方法や感染対策などに関して、理解を深めた。

昨年まで対面で開催していた『受援ガイドライン研修』については、研修画像を高知県看護協会のホームページに上げてもらう、オンデマンド視聴ができるようにしてもらった。しかし1時間の研修でも有り、再生回数は伸びていないことから、もう少し視聴しやすい形式を検討する必要があると考えている。

その他、公開講座的な「フォローアップ研修」として、能登半島地震における石川県看護協会の活動や七尾市地元病院の受援状況について当事者から話を聞く研修会を企画し、80名の参加を得た。この研修からは、県協会の災害対策委員は発災後に看護協会に詰めて、災害対応を行う必要性があることなどについて語られ、高知県看護協会としても、現在各地区理事からのみで構成されている災害対策委員の編成について、検討の余地があることが示唆された。また七尾市で実際に県外施設からの応援を多く受け入れた病院の看護部長さんには、研修会の後、本県で作成している『受援ガイドライン』についても見ていただき、意見を伺った。これを踏まえて、次年度は改定を加えることとなった。8月には日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生したことで、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表された。高知県看護協会における災害看護対策についても、より具体の準備が迫られている所であり、今後も委員会活動の支援を行っていく必要がある。

表 6 地域災害支援ナース育成研修担当者

科目	時間数	教員名
地域災害支援ナース育成研修【基礎編】主催：高知南・東地区支部	3 時間	竹崎 久美子
地域災害支援ナース育成研修【基礎編】主催：東部 1・2 地区支部	3 時間	竹崎 久美子
地域災害支援ナース育成研修【基礎編】主催：吾川・佐川・須崎・窪川地区支部	3 時間	竹崎 久美子
地域災害支援ナース育成研修【実務編】主催：高知県看護協会 福祉避難所編	3 時間	竹崎 久美子